

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

②施設・事業所情報

名称：グローバルキッズ美しが丘保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：久富 明子	定員（利用人数）： 63名（51名）	
所在地：〒225-0002 横浜市青葉区美しが丘1-8-1		
TEL：045-532-8325		
ホームページ：https://www.gkids.co.jp/facilities/nursery_156.html		
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2019年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 グローバルキッズ		
職員数	常勤職員： 15名	非常勤職員： 5名
専門職員	（専門職の名称） 名	
	保育士：16名	看護師：1名
	栄養士：1名	調理師：2名
施設・設備の概要	（居室数）保育室：6室、トイレ：12ヶ所、調理室：1、事務室：1	
	（設備等）園庭：あり（テラス）	

③理念・基本方針

本社の理念「豊かに生きる力を育てる」に基づき、子ども主体の保育、「学び」の保育を実施するために、園独自の保育目標と保育方針を決めている。

質の良い保育の為には、先ず、子どもの発達段階を保育者が学び、理解することが基本となっている。0～2歳までの子どもと保育者の関係はとても大切であり、子どもが発達にあった自己表現が出来ることを大切にしている。

子どもの表現の受け止め、共感していくことでアタッチメント、信頼関係を築くことができる。そうすることで、子どもは自己肯定感を高めていく。その後も自ら考える力を養うために年齢に合った自己決定が出来る環境を整えている。

やってみたい意欲を見守り、成長にあった環境を整えている。

④施設・事業所の特徴的な取組

<p>〈0～2歳児〉 一人ひとりに合った、個々を大切にされた保育をしている。</p> <p>〈3～5歳児〉 異年齢保育を実施、子どもは子どもの中で成長し遊びを通して学んでいる。保育者は見守りながら環境を整えている。</p> <p>〈共通〉 日々の保育をドキュメンテーションにて提示し、保護者へ共有している。ドキュメンテーションの中には、就学前までに育ててほしい10の姿、週の目標を入れ、保育者自身の気づきに繋げている。 食育に力を入れており、五感を通した活動となっている。調理と保育が共有理解をし展開している。 靴箱にはマークや名前がなく、2～3歳頃の一番こだわる時に自分で好きな場所に工夫して置くようにしている。無言で手を出す、手伝ってしまう保護者の気づきにもなっている。 誕生日は集団で行うのではなく、誕生日の子どもがいるクラスの入口に目印のガーランドや花を飾り、生まれたその日にみんなに祝ってもらうことで、その日に主人公になり、特別な日になっている。</p>
--

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和3年6月11日（契約日） ～ 令和4年1月27日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	- 回（ - 年度）

⑥総評

<p>◇特に評価の高い点</p> <p>1)子どもの主体性を尊重した援助 子どもが自己肯定感を高め、年齢に合った自己決定ができる環境を整えています。3～5歳児クラスでは子ども主体のミーティングを毎日行い、子どもたちで話し合っただけを保育に組み込んでいます。子ども同士でのトラブルが起こった時も、職員はすぐに止めに入らずに見守り、相互に気持ちを伝え合えるチャンスを作っています。生活習慣の習得では、自らやろうとしている時に声をかけ過ぎないようにしています。子ども自身で考え、子どもの気持ちを大切に、職員はそれに応じた援助を行うようにしています。</p> <p>2)マニュアルを見直して保育を実践 年度末に必ず園独自のマニュアルの見直しを行っています。また、年度末でなくても、変更が必要になった場合は随時見直しを行っています。見直しの結果、変更の必要がなければ「2021同様」のように記し、変更した場合は赤で修正したうえで、「2021 10/1追記」のように更新の記録を分かりやすく残しています。職員全員で見直した箇所を確認し、変更内容にしたがって日々の保育を実践しています。</p> <p>3)職員のリーダーシップによる職員育成 園長は、園の将来のあるべき姿を見据え、自ら5ヶ年計画を策定し、人材の確保・育成に取り組んでいます。職員の中途採用は自らが直接面談を実施しています。昨年の正職員</p>

の退職者は結婚による1人のみで、現在職員の不足はありません。職員一人ひとりについては、教育・研修の機会がしっかりと確保され、適切に実施されています。保育の質の向上のため、「園内研修」を実施しています。園長自ら手書き資料を作り、内容を解説し、職員の知識・専門技能の向上に積極的に取り組んでいます。職員には情報の共有の仕方、話し合うことの大切さを周知しています。子どもたちの安全・健康を第一に考え、保育の現場への目配り、心配りをしています。「2021チーム美しが丘」(ONE TEAM)をスローガンとして取り組んでいます。

◇改善を求められる点

1)達成基準を明確にした事業計画の策定

事業計画は、年度末に実施する園の自己評価をベースとして、主にリーダー会議で話し合い、園長が纏めて策定しています。現在の計画は、重点課題や取組方針・実行計画等が策定されていますが、数値目標の設定がなく、また期末での具体的な達成基準も明確になっていません。今後、計画内容を見直し、数値目標や達成基準を明確にされることが期待されます。

2)ボトムアップに配慮した運営

園長は「チーム美しが丘」を提示して強いリーダーシップにより園を運営しています。設立から3年が過ぎ、職員も一人ひとりが自主的に動けるボトムアップにも配慮した運営が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

開園3年目で第三評価を受けさせていただきました。評価機関の皆様には、コロナ禍の中、感染防止対策のご配慮をしていただきながら、親身になって見ていただき感謝申し上げます。

園で大切にしている主体性を尊重した環境設定、安心安全に繋がる保育を評価していただきました。

また、保護者の皆様にも園の方針や目標をご理解ご協力いただいていることが改めてわかり、職員一同嬉しく思います。

課題である職員ひとりひとりのボトムアップについて、すぐ職員と話をしました。今は園の将来を見据えた5年計画のこれからにあたります。安心安全と質のいい保育をする為の基礎である開園からの3年で、職員が同じ方向を向き意見が言える風土になっています。ひとりひとりがより意識し主体性をもっていきたいという意見が多く挙がりました。

お忙しい中、アンケートにご理解ご協力いただいた保護者の皆様ありがとうございました。

「子ども達の未来のために」保護者の皆様と「チーム美しが丘」をつくっていくよう、職員一同努めて参ります。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり